

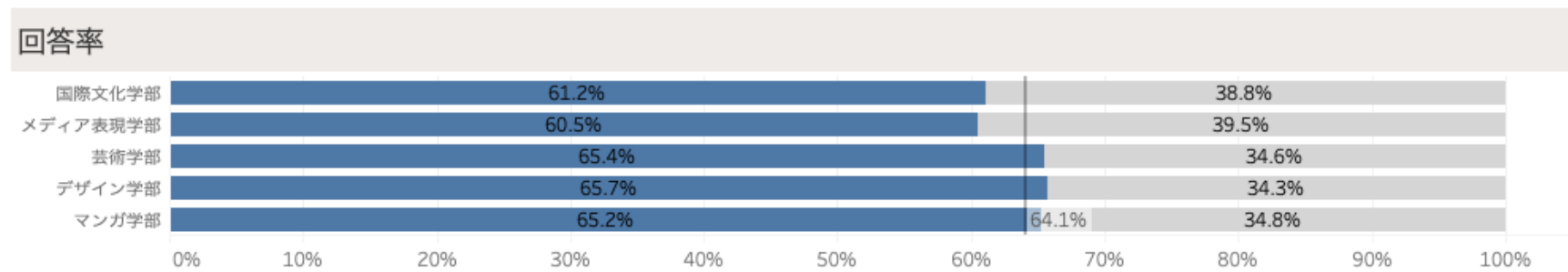
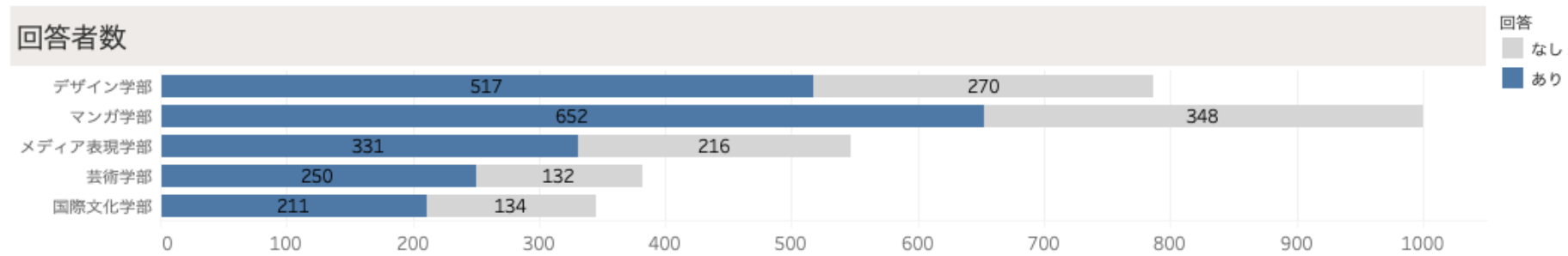
京都精華大学

2024年度 キャンパスライフアンケート結果

ファイル作成日: 2024/10/11 学長室 グループIR

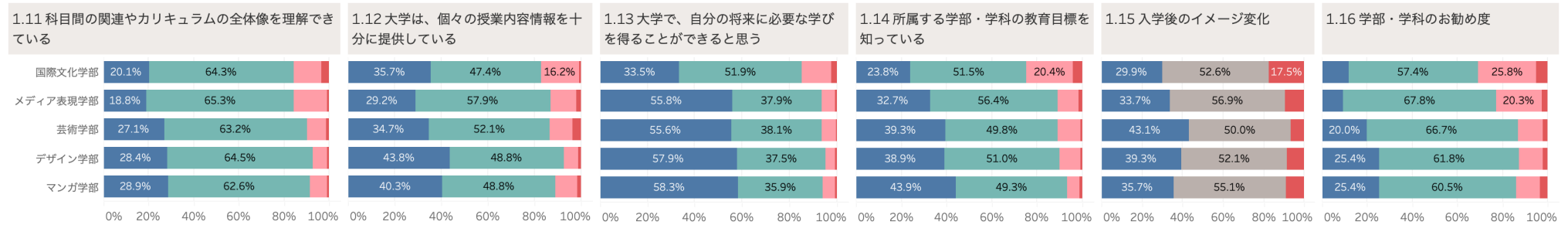
## 回答状況

対象学生（学部1,2,3年生）数3,061名中1,961名が回答し、全体の回答率は64.1%。

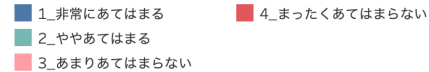


# 1.1 教育内容の理解、将来の見通し

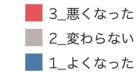
概要：カリキュラム全体像は全学的には89.6%と概ね理解されている。所属学部教育目標の認知度は学部によって違いがある。入学後にイメージが良くなった、あるいは入学前と変化なしとする学生が90.2%であるが、悪くなったとする学生も一定数いる。全学的に88.2%の学生が大学全体を通して成長を実感しており、各学部のDP成長実感については、学年が進むごとに実感が順調に高まっている傾向が確認できる。2022年度および2023年度は他のDPに比べ成長実感が低めであったDP4（他者理解と協働）に大きく改善が見られる。



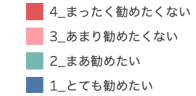
1.11 - 1.14 教育内容理解度



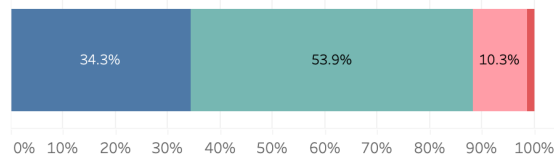
1.15 入学後のイメージ変化



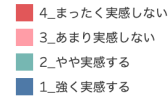
1.16 学部・学科のお勧め度



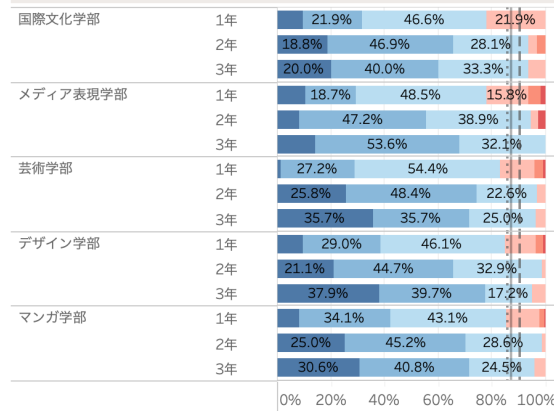
## 1.20 成長実感 (大学生生活全体を通して何らかの成長をした実感がありますか)



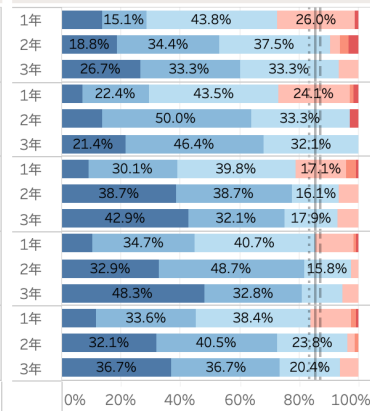
1.20 成長実感



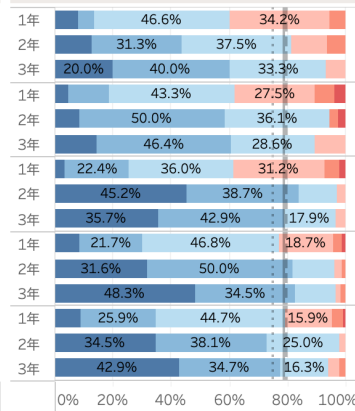
## 1.21 成長実感 学部DP1 (知識と理解)



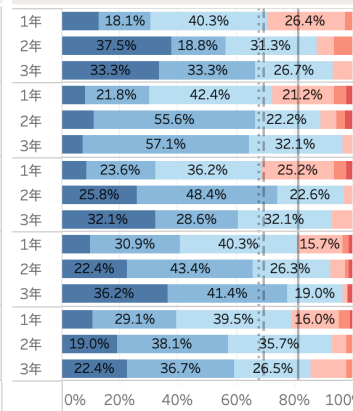
## 1.22 成長実感 学部DP2 (創造的思考・視点と考察)



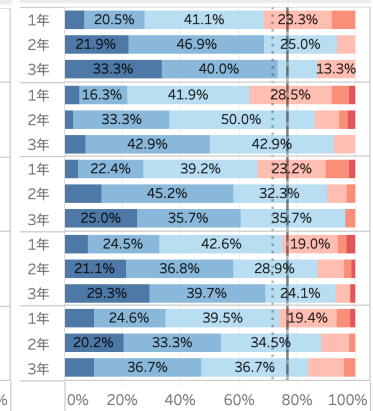
## 1.23 成長実感 学部DP3 (技術・研究と表現)



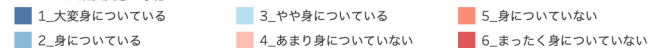
## 1.24 成長実感 学部DP4 (他者理解と協働)



## 1.25 成長実感 学部DP5 (社会への関心と行動)



1.21-1.25 成長実感 学部DP



\*リファレンスライン・・・実線：「身についている」率の2024年度全学平均、点線大：同2023年度平均、点線小：同2022年度平均

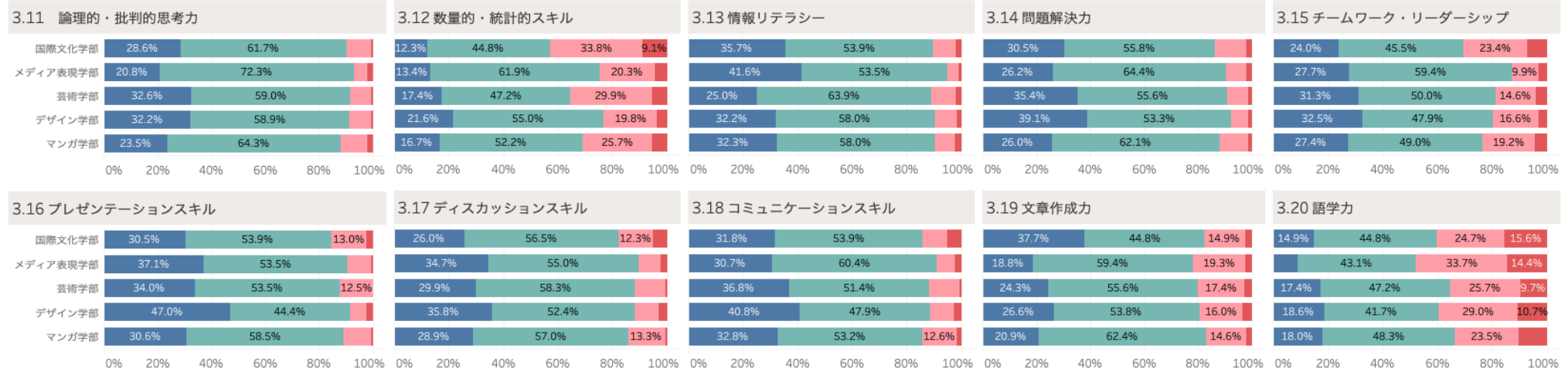
## 2. 学生満足度

概要：全体的に他項目と比べて満足度が低い（満足回答8割未満）のは、セイカポータル、就職・進路支援、語学教育・支援。満足度が高いのは展示スペースで90.8%の学生が満足している。  
カリキュラム、授業内容の満足度は学部によって差が見られる。



### 3. 授業役立ち度 (授業全体をとらえたときに、自分が受けていた(受けている)授業は、以下の能力・スキルを向上させるのにどの程度役に立ったと感じますか)

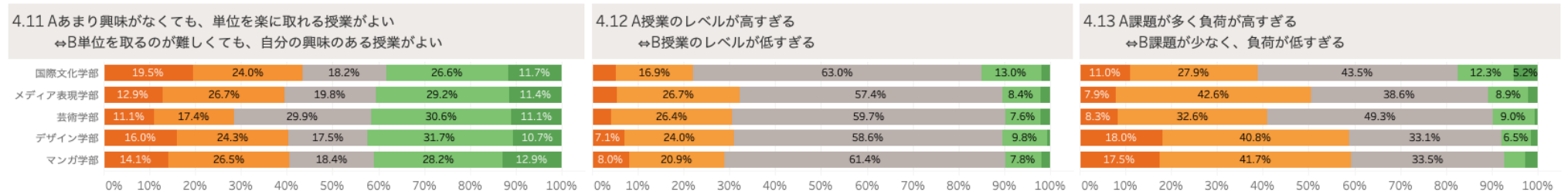
概要：全学的に、論理的・批判的思考力、情報リテラシー、問題解決力、プレゼンテーションスキルの能力向上に授業が役立っていると感じている学生が多く、数量的・統計的スキル、語学力、チームワーク・リーダーシップ、文章作成力においては授業が役立っていないとする学生の率が他項目よりも高い。



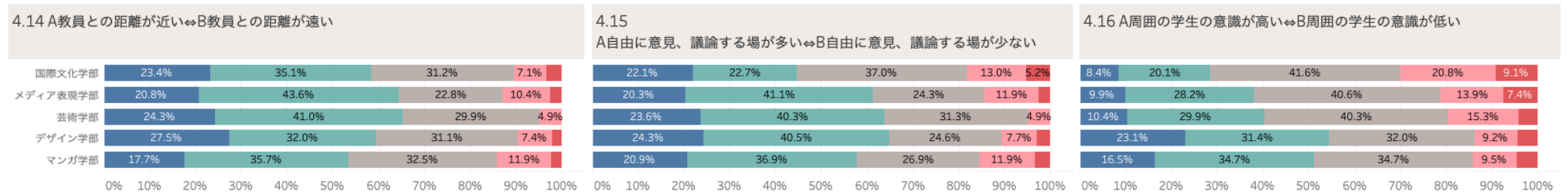
3.11-3.20 各能力向上に対する授業の役立ち度  
 ■ 1\_とても役に立っている ■ 2\_まあ役に立っている ■ 3\_あまり役に立っていない ■ 4\_まったく役に立っていない

### 4. 学び方

授業のレベル、課題の量や負荷は高いと感じている学生の方が多い。教員との距離は半数以上が近いと回答している。自由に意見・議論する場についても半数が多いと答える一方、少ないとする学生も学部によって一定数いる。



4.11-13 ■ 1\_Aにあてはまる ■ 2\_Aにややあてはまる ■ 3\_どちらともいえない ■ 4\_Bにややあてはまる ■ 5\_Bにあてはまる



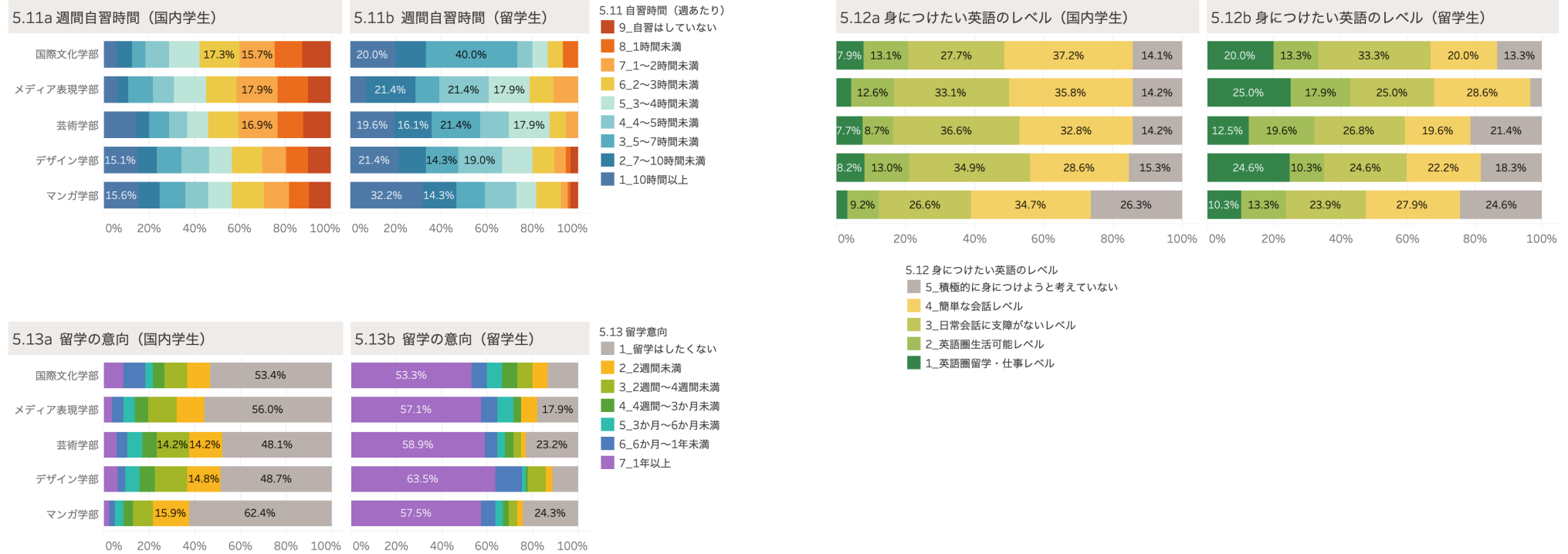
4.14-4.16 ■ 1\_Aにあてはまる ■ 2\_Aにややあてはまる ■ 3\_どちらともいえない ■ 4\_Bにややあてはまる ■ 5\_Bにあてはまる

## 5. 学修行動

概要：留学生の方が自習時間が長い傾向。

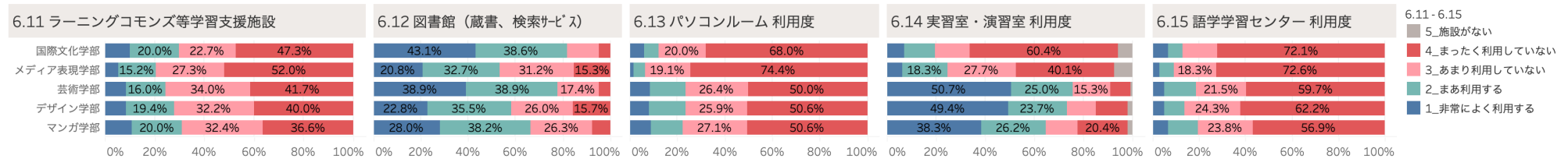
国内学生と留学生で希望レベルには差があるが、全体の約4-5割の学生が日常会話レベル以上の英語力を身につけたいと考えている。国内学生の約半数が何らかの留学意向がある。

留学生は「留学の意向を教えてください」という設問に対し、本学にいる期間について回答している層が一定混ざっていることが長期留学希望が多い理由と推測される。



## 6. 施設利用状況

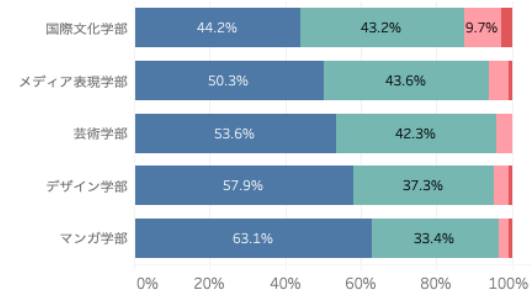
概要：国際文化、芸術学部の図書館利用率が高い。ラーニングcommons、PCルームの活用率が2割前後に止まっている。



## 7. 大学納得度、適応状況

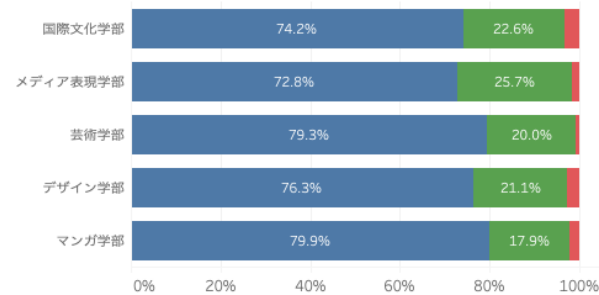
概要：全学平均で94.6%の学生が「入学してよかった」に対しポジティブ回答であり、入学納得度は非常に高い。  
相談できる教員の有無は学部によって大きく異なる。困りごととしては進路に関連する内容が大半を占めている。

### 7.11 大学納得度 (京都精華大学に入学してよかったと思えますか)



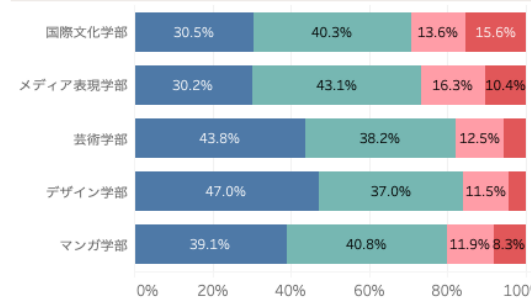
7.11 大学納得度  
 ■ 4\_まったくそう思わない  
 ■ 3\_あまりそう思わない  
 ■ 2\_どちらかといえば思う  
 ■ 1\_とても思う

### 7.12 再受験・退学の検討

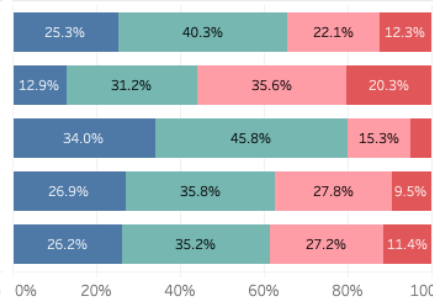


7.12 再受験・退学の検討  
 ■ 3\_現在、検討している  
 ■ 2\_以前検討していたが、今は考えていない  
 ■ 1\_検討したことはない

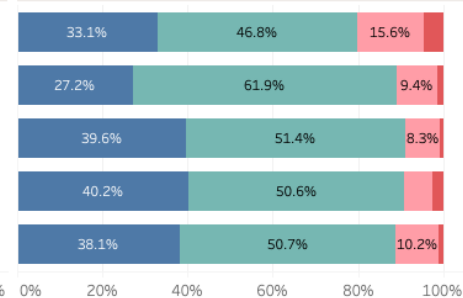
### 7.14 勉強面/進路面で相談できる友人が学内にいる



### 7.15 ちょっとしたことでも相談できる教員がいる

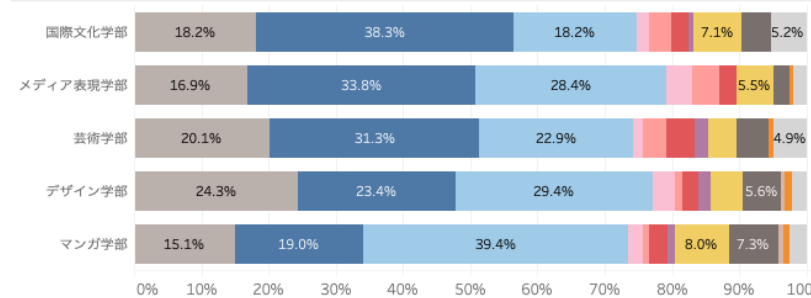


### 7.16 大学の校風や雰囲気は、自分に合っている



7.14-7.16  
 ■ 4\_まったくあてはまらない  
 ■ 3\_あまりあてはまらない  
 ■ 2\_ややあてはまる  
 ■ 1\_非常にあてはまる

### 7.17 困っていること



7.17 困っていること  
 ■ 01\_困っていることはない  
 ■ 02\_やりたいこと(就職・進路面)が見つからない  
 ■ 03\_希望する進路に進めるか不安  
 ■ 04\_授業についていけない  
 ■ 05\_学びたいことが見つからない  
 ■ 06\_学びたいことが学べていない  
 ■ 07\_教員との人間関係  
 ■ 08\_友人、異性、先輩・後輩との人間関係  
 ■ 09\_経済的な事情  
 ■ 10\_将来への不安・精神面の負担  
 ■ 11\_課題の負担が重すぎる  
 ■ 12\_その他

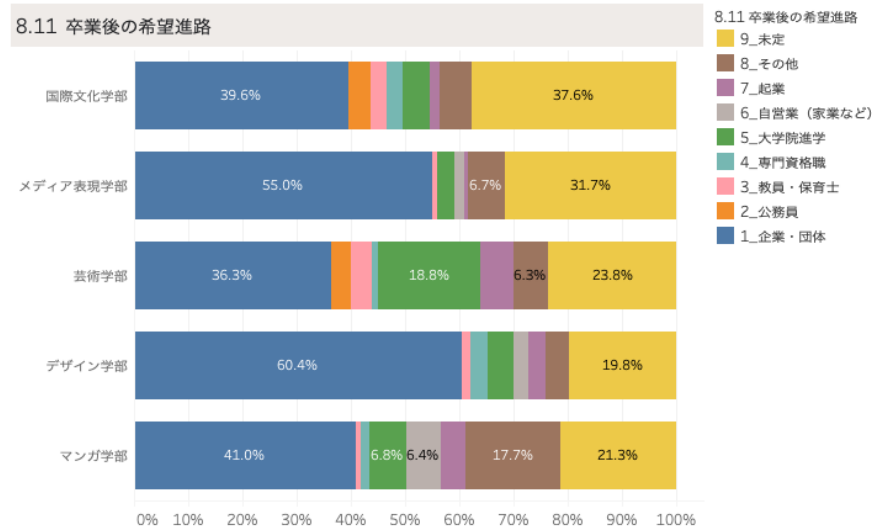
## 8. 進路・就職

概要：卒業後の希望進路はコースによって傾向が異なる。

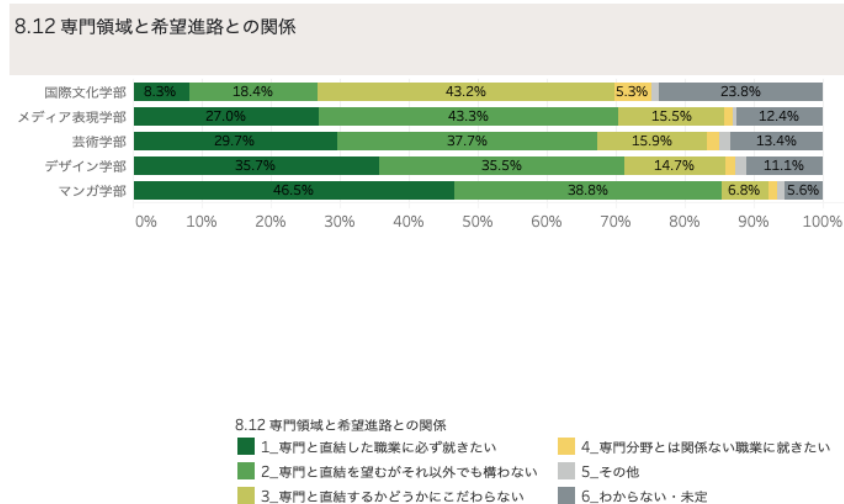
メディア表現、芸術、デザイン学部は専門領域と直結した職業の希望者が約7割、マンガ学部は9割近い学生が希望している。

進路就職に関する学生のニーズは、所属学部教員からの指導・助言が学部を問わず多数を占め、制作系ではポートフォリオ指導のニーズも高く、学年を問わず1年次から同様の期待がある。

### 8.11 卒業後の希望進路



### 8.12 専門領域と希望進路との関係



### 8.17 卒業後の進路を考える上で大学に期待すること (複数回答可、カウント数表記)

